

企画展「^{ほんぞうこうもく}博物学の黎明と^{うんこんし}鉱物—本草綱目・雲根志の石」を開催します

中津川市鉱物博物館では、第29回企画展「博物学の黎明と^{うんこんし}鉱物—本草綱目・雲根志の石」を開催します。

江戸時代の代表的な本草書『本草綱目』や石を愛し収集した^{きのうちせきてい}木内石亭の著作『雲根志』などと、そこに掲載された石を標本で紹介します。

■会期

令和5年10月14日（土曜日）～12月24日（日曜日）

※ 会期中の休館日：毎週月曜日

開館時間：9：30～17：00（入館は16：30まで）

■会場

中津川市鉱物博物館 企画展示室 （中津川市苗木 639-15 TEL 0573-67-2110）

■入場料

入館料のみ（個人 330 円、中学生以下無料）

※ 11月3日（金曜日・祝日）は終日入館無料（文化の日 入館無料デー）

■展示内容

- 江戸時代の本草書ほか
『本草綱目』（中山道歴史資料館蔵）・『大和本草』・『雲根志』 など
- 上記本草書に掲載された石に対応する標本
約 70 点

■博物学と本草学について

博物学は、自然の万物を分類・記載し、自然を理解しようとする学問です。現代の地球科学（地質学・鉱物学・古生物学など）や生命科学（植物学・動物学など）は博物学から発展しました。

博物学からさらに時代をさかのぼると、東洋では薬として植物（薬草）や鉱物（薬石）を研究する本草学に至ります。

明治時代に、西洋から近代的な博物学、そして鉱物学や地質学が導入されるまで、日本でも本草学を通して「石」を理解しようとしていました。

本展では、中山道歴史資料館蔵『本草綱目』（校正 和名入）の「図巻 上」に掲載された「金石」を中心に、各品目に対応すると考えられる鉱物・岩石をご紹介します。

お問い合わせ先

文化スポーツ部 鉱物博物館 担当者：大林

電話：0573-67-2110



第29回企画展

博物学の黎明と鉱物 本草綱目・雲根志の石

2023年10月14日(土) ▶ 12月24日(日)



会期中の休館日

10月 16日, 23日, 30日
11月 6日, 13日, 20日, 27日
12月 4日, 11日, 18日

この企画展は通常の入館料でご覧いただけます

開館時間 9:30 ~ 17:00 (入館は16:30まで)

入館料 330円 (団体270円)
企画展は通常の入館料でご覧いただけます
※団体は10人以上, 中学生以下無料

交通
・中央自動車道「中津川IC」から車で約20分
・JR「中津川駅」からバス、「夜明けの森」下車, 徒歩約40分

夜明けの森きらめきパーク 中津川市鉱物博物館

〒508-0101 岐阜県中津川市苗木639-15
TEL 0573-67-2110 FAX 0573-67-2191
E-mail museum@city.nakatsugawa.gifu.jp
<https://www.city.nakatsugawa.lg.jp/museum/m/>

